

第3回 上富良野町総合計画策定委員会 会議報告

1 日 時 平成30年3月14日（水）

2 場 所 書面会議

3 内 容

委員各位からご報告いただき事務局で検討した結果、別添のとおり修正箇所について調製し、原案とした。

ページ数	意見・指摘等項目	意見・指摘等の内容	意見・指摘等箇所
総論 6	(1)位置と地勢	<ul style="list-style-type: none"> ・町総面積の誤植修正。 ・当該地図表記の「富良野国道」はナビ等での表記であり、町では「国道237号線」が一般的なため。 ・当該地域の呼称の誤植修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・『237.18k m²』⇒『237.10k m²』 ・『富良野国道』⇒『国道237号線』 ・『上川総合振興局』⇒『上川地方』
総論 7	(2)気候	<ul style="list-style-type: none"> ・温度の表記方法の修正。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『26度』⇒『26℃』 ・『15度』⇒『15℃』
総論 7	(3)町の歩み	<ul style="list-style-type: none"> ・開拓の草分けとしての「草分け」と地区名称の「草分」が混同するため文章自体を修正。また、町の歴史では三重団体と表記。 ・十勝岳噴火の表記を修正（世界火山史上に例を見ない、泥流の山津波などの表記） 	<ul style="list-style-type: none"> ・『同30（1897）年に富良野盆地の草分けの三重県団体の入植で開拓の斧と鍬が下され、やがて…』 ⇒『同30（1897）年に富良野盆地開拓の草分けとして三重団体が入植し、開拓の斧と鍬が下ろされました。やがて…』 ・『同15（1926）年に十勝岳が世界火山史

		<ul style="list-style-type: none"> ・田畑の復旧等の表現を修正 	<p>上に例を見ない大爆発を起こし、泥流の山 津波は…』</p> <p>⇒『同 15（1926）年に十勝岳が大爆発を 起こし、その時発生した融雪型泥流は…』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『被災地の田畑は昭和 3（1928）には復旧、 その後 10 余年で 9 分通りの収穫を得て復 旧に成功しました。』 ⇒『被災地の田畑は昭和 3（1928）年には 作付を再開し、その後 10 余年で 9 分通りの収穫を得て、復興を果たしました』
総論 10	(2)産業 3 部門 別就業者数	<ul style="list-style-type: none"> ・就業者がない漁業の字句を削除 	<ul style="list-style-type: none"> ・『農業、林業、<u>漁業</u>などの』⇒『農業、林業などの』
総論 13	3 多彩で魅力 ある観光・交流 資源	<ul style="list-style-type: none"> ・字句修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・『<u>画家</u>・後藤純男画伯』⇒『後藤純男画伯』 ・『後藤純男美術館』⇒『<u>アトリエ併設</u>の後 藤純男美術館』 ・『十勝岳ジオパーク』⇒「十勝岳ジオパーク<u>構想</u>」
総論 14	4 安心して暮 らせる充実し た健康・福祉環 境	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の順立の年度を記載する ・字句修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・『第 2 位』⇒『第 2 位(平成 28 年度)』 ・『総合保健福祉センター』⇒『保健福祉総 合センター』
総論 29	(1)最重要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の<u>歯止め</u>が課題ではなく、 人口減少の対策とか対応す 	<ul style="list-style-type: none"> ・『町一体となった人口減少の歯止め』 ⇒『町一体となった人口減少の

		ること課 題であるため	対策』
総論 31	3 農業と観光・交流を柱とした活力ある産業育成	<ul style="list-style-type: none"> ・表題中の「観光・交流」は「観光」で一括りとし、産業で抜けている「商業」を加える ・第2文章の「このため」が「町民の声が強い」ため、対策をとると受け取られることから表現を修正する 	<ul style="list-style-type: none"> ・表題『農業と観光・交流を柱とした活力ある産業の育成』⇒『農業・商業・観光を柱とした活力ある産業の育成』 ・『“農業・農村環境の整備・保全”を求め、声が強くなっています。』⇒『“農業・農村環境の整備・保全”が求められています。』
総論 35	2 将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・第1案を採用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2・3案を削除する
構想 36	3 人口の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人口目標を人口ビジョンから按分しているが「按分」の字句を修正する 	<ul style="list-style-type: none"> ・『按分』⇒『類推』
構想 37	1 計画の体系	<ul style="list-style-type: none"> ・分野目標「4 未来を拓く人を育む 教育・文化のまち」の施策項目中「⑤ 地域間交流」が記載されているが、この項目は教育中心の施策であり、4での地域間交流は姉妹校交流のみである。よって、「6 とともに生き、ともに作るまち」に移動したほうが適切ではないか。 ・分野目標「5 発展を支える生活基盤が整ったまち」の施策項目中「④住宅、定住・移 	<ul style="list-style-type: none"> ・先の理由から『⑤地域間交流』を分野目標の4から6に移動し、『③地域間交流』とし、既存③以降をひとつずつ繰り下げる。 ・『④住宅、定住・移住対策』⇒『④住環境整備』

		住対策」で横並びの施策ではないため修正する	
構 想 39	4 未来を拓く 人を育む教 育・文化のまち	・ 同上	・ 『⑤地域間交流』を削除
構 想 40	5 発展を支え る生活基盤が 整ったまち	・ 同上	・ 『④住宅、定住・移住対策』⇒ 『④住環境 整備』 ・ 『さらに、定住・移住の基盤… サポートす る施策を推進します』⇒『さら に、移住 者に対する空家・空地情報の収 集・提供 をはじめ、生活の基盤となる快 適で安 全・安心な住宅・住環境の確保 に向けた 取り組みを進めます。』
構 想 40	6 とともに生 き、ともにつく るまち	・ 同上	・ 『③地域間交流』を挿入し、既 存③以降を ひとつずつ繰り下げる。
構 想 41	総論・基本構想 の構成	・ 上記の修正を反映させる	